

| | | | | | | | | | |
|-------|--------------------------|---------|---|-----|---------|-----|------------------------|-----|------|
| 科目名 | 実習・演習2 (MAエンジニア専攻) | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Training and exercises 2 | | | | | | | 学期 | 後期 |
| 学科・学年 | 音響芸術科 MAエンジニア専攻 1年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 180 | 単位数 | 6 | 種別※ | 実習 |
| 担当教員 | 柴 徳昭 | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | ミュージシャン・エンジニア・プロデューサー□ | | |

【科目の目的】

スタジオシステムを理解し、作品づくりに向けた基本操作を習得する。

【科目の概要】

実習ではメモ帳を活用して進行する。また演習は講義形式で行う実習と連動した科目である。項目により、グループで行うものや、個別に作業を行う場合がある。グループで行うものは各自の役割をつかみ、関連した仕事についても習得していく。

【到達目標】

- A. システムを理解しMA作業ができるようにする。特にナレーション録りにおいては「通常Na録り」「CMNa録り」「アフレコ」の3つに重点を置き、それぞれの違いを理解しミキサーとアシスタントのオペレーションとセッティングをおこなえるようにする。
 B. 音声編集や音楽編集を習得する。
 C. 映像の取り扱いなどを理解する。

【授業の注意点】

この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック 評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 |
|--------------|--|--|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 到達目標 A | 3種類のナレーション録りの違いを理解していて、セッティングができ、オペレーションができる | 3種類のナレーション録りの違いを理解していて、セッティングができる | システムを理解し、3種類のナレーション録りの違いを理解している | システムは理解しているが3種類のナレーションの違いを理解していない | システムを理解していない |
| 到達目標 B | 音楽の構成変更ができ、音質調整ができる | カットとフェード処理・ノイズ処理ができる | カットとフェード処理ができる | 音声の不必要な場所が把握できる | 音声の不必要な場所が把握できない |
| 到達目標 C | 映像のファイル企画を理解し適切に扱うことができる | サテライトを理解してPro ToolsとMedia Composerを同期できる | サテライトを理解している | Media Composerのセットアップができる | Media Composerのセットアップができない |
| 到達目標 D | | | | | |
| 到達目標 E | | | | | |

【教科書】

音響映像設備マニュアル・ハンドブック

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | | 実習・演習2 (MAエンジニア専攻) | | | 年度 | 2026 |
|------|----------------|--------------------------|-----------------|--|------|------|
| 英語表記 | | Training and exercises 2 | | | 学期 | 後期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 前期分復習1 | これまでの学習の確認 | 1 電源 | 適切な順番で電源の入り切りができる | 3 | |
| | | | 2 AVID S6の役目 | AVID S6の動作原理と使用方法を把握できる | | |
| | | | 3 Pro ToolsとMac | Pro Tools・Mac・S6とのつながりを理解できる | | |
| 2 | スタジオシステム1 | 機材の理解と操作ができる | 1 MC Mac | Media Composerのセットアップができる | 3 | |
| | | | 2 マイクセッティング | 適切なマイクを適切にセットできる | | |
| | | | 3 ルーティング | マイクからPro Toolsまでの信号を理解できる | | |
| 3 | スタジオシステム2 | 機材の理解と操作ができる | 1 サテライト設定 | サテライトを設定してPro ToolsとMedia Composerを操作できる | 3 | |
| | | | 2 サーフフェイス | サーフェイスの役割と原理を理解する | | |
| | | | 3 X-MON | X-MONを使ってモニター環境が構築できる | | |
| 4 | スタジオシステム3 | 機材の理解と操作ができる | 1 新規セッション | 適切にPro Toolsセッションを作成できる | 3 | |
| | | | 2 トラックの作成 | 録音内容に沿ったトラックを作成できる | | |
| | | | 3 同期の設定 | サテライトを設定してPro ToolsとMedia Composerを操作できる | | |
| 5 | 音声編集1 | 収録した音声の編集ができる | 1 Pro Toolsの操作 | 適切にセッションとトラックを作成できる | 3 | |
| | | | 2 整音 | 不必要な部分のカットとフェード処理ができる | | |
| | | | 3 ノイズ処理 | ノイズ処理ができる | | |
| 6 | Na録音 (VP&オンリー) | VPに特化したNaの収録ができる | 1 マイクセッティング | 適切なマイクを適切にセットできる | 3 | |
| | | | 2 セットアップ | 各機器のセッティングとルーティング | | |
| | | | 3 収録 | 音声の収録ができる | | |
| 7 | Na録音 (CM) | CMに特化したNaの収録ができる | 1 マイクセッティング | 適切なマイクを適切にセットできる | 3 | |
| | | | 2 セットアップ | 各機器のセッティングとルーティング | | |
| | | | 3 収録 | 音声の収録ができる | | |
| 8 | Na録音 (CM) | CMに特化したNaの収録ができる | 1 マイクセッティング | 適切なマイクを適切にセットできる | 3 | |
| | | | 2 セットアップ | 各機器のセッティングとルーティング | | |
| | | | 3 収録 | 音声の収録ができる | | |
| 9 | Na録音 (アフレコ) | アニメのアフレコのエンジニアリングができる | 1 マイクセッティング | 適切なマイクを適切にセットできる | 3 | |
| | | | 2 セットアップ | 各機器のセッティングとルーティング | | |
| | | | 3 収録 | 音声の収録ができる | | |
| 10 | Na録音 (アフレコ) | アニメのアフレコのエンジニアリングができる | 1 マイクセッティング | 適切なマイクを適切にセットできる | 3 | |
| | | | 2 セットアップ | 各機器のセッティングとルーティング | | |
| | | | 3 収録 | 音声の収録ができる | | |
| 11 | 音楽編集2 | 音楽の編集ができる | 1 Pro Toolsの操作 | 適切にセッションとトラックを作成できる | 3 | |
| | | | 2 尺編集 | 音楽の構成変更の編集ができる | | |
| | | | 3 音質調整 | 必要に応じて音質の調整ができる | | |
| 12 | MA作業1 | 適切なMA作業ができる | 1 映像のチェック | MAするための動画をチェックし計画を立てる | 3 | |
| | | | 2 効果音素材の準備 | 短い時間で適切な効果音を準備できる | | |
| | | | 3 音楽素材の準備 | シーンに合わせた音楽をセレクトできる | | |
| 13 | MA作業2 | 適切なMA作業ができる | 1 音声処理 | 各素材を目的に応じて加工編集ができる | 3 | |
| | | | 2 エフェクターの使用 | エフェクターの機能を理解し操作できる | | |
| | | | 3 MA作業 | 各素材を目的に合わせてミックスできる | | |
| 14 | 番組制作実習1 | 自分達の計画でコンテンツの制作が進められる | 1 映像のチェック | 各素材を目的に応じて加工編集ができる | 3 | |
| | | | 2 効果音素材の準備 | 短い時間で適切な効果音を準備できる | | |
| | | | 3 音楽素材の準備 | シーンに合わせた音楽をセレクトできる | | |
| 15 | 番組制作実習1 | 自分達の計画でコンテンツの制作が進められる | 1 音声処理 | 各素材を目的に応じて加工編集ができる | 3 | |
| | | | 2 エフェクターの使用 | エフェクターの機能を理解し操作できる | | |
| | | | 3 MA作業 | 各素材を目的に合わせてミックスできる | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等